

# 人民元経済圏の再定義

## －アンカー通貨としての人民元－

学習院大学大学院生/財務省 棚瀬順哉

Frankel-Wei (1994) のモデルなどを用いて人民元のアンカー通貨としてのプレゼンスを調べる先行研究は複数存在するが、FW モデルで推定されるパラメータ (FW パラメータ) のアンカー通貨のプロキシとしての妥当性や、FW パラメータと実際の通貨の使用状況の関係については、十分な検証がなされているとは言いがたい。本稿では、FW パラメータがアンカー通貨のプロキシとして有効であり、FW パラメータと実際の通貨の取引シェアの間に一定の相関関係が見られることを示した上で、アンカー通貨が明らかでない国の通貨について FW モデルによる推定を行い、これらの国における事実上のアンカー通貨を明らかにした。この結果、アンカー通貨としての米ドルの支配的地位が変わっていないことや、人民元経済圏は地域的なバラツキが大きいことが示唆された。加えて、人民元のパラメータの決定要因に関する実証分析を行った。